

ウオダス 漁海況速報 No.1525



発行日 平成 18 年 12 月 11 日 <http://www.applenet.jp/~aosui/>
 発行 青森県水産総合研究センター TEL 0173-72-2171 FAX 0173-72-2778
 住所 〒038-2761 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸384-37

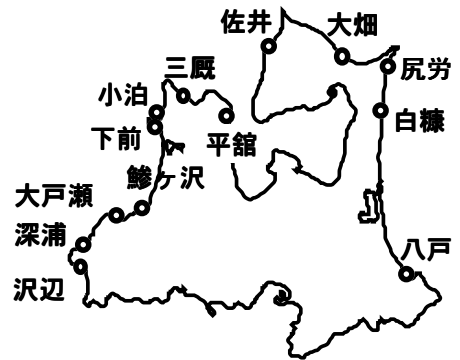
12月のウオダス発行日

日	月	火	水	木	金	土
					①	②
3	4	5	⑥	7	8	9
10	⑪	12	13	14	15	16
17	⑱	19	20	⑳	22	23
24/31	25	⑳	27	28	29	30

●対馬暖流の勢力はかなり弱め (東奥丸による日本海沿岸定線観測結果)

小 泊 (12月6~10日)

スルメイカ	一本釣	5隻	860kg
ウスメバル	一本釣	38隻	1,059kg
マダラ	刺網	8隻	3,530kg
アブラツノザメ	刺網	3隻	69kg
(163 kg)	延縄	3隻	94kg



鰺ヶ沢 (12月1~5日 追加分)

ハタハタ	定置網	1隻	7kg
ヤリイカ	底建網	3隻	56kg
タイ	底建網	2隻	3kg

(12月6~10日)

ハタハタ	定置網	34隻	31,736kg
(34,188kg)	底建網	1隻	60kg
	刺網	19隻	2,125kg
	底曳網	2隻	266kg
ヤリイカ	定置網	1隻	3kg
(2,187kg)	底建網	55隻	2,127kg
	底曳網	3隻	57kg
タイ	底建網	45隻	253kg
(3,782kg)	底曳網	2隻	3,529kg
サケ	定置網	1隻	10kg
(27 kg)	底建網	1隻	17kg
ワラサ	底建網	1隻	4kg
フクラゲ	底建網	19隻	197kg
マダラ	底曳網	1隻	576kg
アブラツノザメ	底曳網	2隻	456kg
ウスメバル	底建網	2隻	0.4kg
(2 kg)	底曳網	1隻	1kg
サバ	底建網	1隻	1kg
(6 kg)	底曳網	2隻	5kg

大戸瀬 (12月6~10日)

ハタハタ	定置網	13隻	860kg
スルメイカ	底建網	1隻	15kg
ヤリイカ	定置網	54隻	119kg
(2,597kg)	底建網	180隻	2,478kg
サケ	定置網	46隻	6,885kg
(7,093kg)	底建網	13隻	208kg
ブリ	定置網	6隻	106kg
(664 kg)	底建網	43隻	558kg
サクラマス	定置網	1隻	4kg
(8 kg)	底建網	1隻	4kg
タイ	定置網	7隻	20kg
(3,542kg)	底建網	156隻	3,522kg
サバ	定置網	1隻	5kg
(99 kg)	底建網	8隻	93kg

沢 辺 (12月6~10日)

ハタハタ	定置網	5隻	2,440kg
(2,987kg)	刺網	13隻	547kg
ヤリイカ	定置網	2隻	12kg
(16 kg)	底建網	1隻	4kg
シヨッコ	底建網	1隻	3kg
タイ	底建網	3隻	17kg

深 浦 (12月6~10日)
(取りまとめ中)

下 前 (12月1~5日)

ウスメバル	一本釣	2隻	40kg
-------	-----	----	------

三 厩 (12月6~10日)

スルメイカ	一本釣	7隻	2,690kg
ヤリイカ	定置網	18隻	94kg
(109 kg)	一本釣	1隻	15kg
クロマグロ	一本釣	50隻	4,047kg
ウスメバル	一本釣	2隻	18kg
アブラツノザメ	延縄	6隻	3,175kg

平 館 (12月1~10日)
(取りまとめ中)

佐 井 (11月16日~12月10日)
(取りまとめ中)

大 畑 (12月6~10日)
(取りまとめ中)

尻 労 (12月1~10日)
(取りまとめ中)

白 糠 (11月16日~12月10日)
(取りまとめ中)

八 戸 (12月6~10日)

スルメイカ	一本釣	48隻	10,710kg
サケ他	定置網	14隻	48,944kg

救命胴衣の着用で生存率は80%、未着用20%

主要魚種の動き

○ハタハタ (全漁法・12月6~10日)

(日本海)	今回	前回比	漁期累計 (9月~)	去年同期累計比
鰺ヶ沢	34,188kg	33517%	37,867kg	632%
沢 辺	2,987kg	-	2,987kg	1019%

○ヤリイカ (全漁法・12月6~10日)

(日本海)	今回	前回比	漁期累計 (8月~)	去年同期累計比
鰺ヶ沢	2,187kg	1629%	11,564kg	717%
大 戸 瀬	2,597kg	436%	5,222kg	9358%
(津軽海峡)				
三 厩	109kg	55%	859kg	1993%

○スルメイカ (一本釣・12月6~10日)

(日本海)	今回	前回比	漁期累計 (5月~)	去年同期累計比
小 泊	860kg	-	1,542,856kg	206%
下 前	-	-	972,700kg	193%
鰺ヶ沢	0kg	-	222,816kg	259%
(津軽海峡)				
三 厩	2,690kg	-	190,136kg	99%
(太平洋)				
八 戸	10,710kg	27%	1,042,936kg	28%

○ブリ (全漁法・12月6~10日)

(日本海)	今回	前回比	漁期累計 (5月~)	去年同期累計比
小 泊	0kg	-	2,407kg	445%
鰺ヶ沢	201kg	-	6,220kg	108%
大 戸 瀬	664kg	50%	4,551kg	15%
沢 辺	3kg	-	1,466kg	3%
(津軽海峡)				
三 厩	0kg	-	200kg	15%

○ウスメバル (全漁法・12月6~10日)

(日本海)	今回	前回比	漁期累計 (4月~)	去年同期累計比
小 泊	1,059kg	-	130,936kg	81%
下 前	-	-	53,228kg	81%
(津軽海峡)				
三 厩	18kg	-	7,493kg	119%

○アブラツノザメ (全漁法・12月6~10日)

(津軽海峡)	今回	前回比	漁期累計 (9月~)	去年同期累計比
三 厩	3,175kg	-	13,272kg	69%

沿岸各地の水温

日本海 11 ~ 12 台
陸奥湾 9 ~ 12 台

今回は鰯ヶ沢と蛇浦を除く全ての地域で降温し、平均前回差は-0.6度となりました。

昨年と比べると、日本海側で-0.8度、津軽海峡側で-0.9度、陸奥湾内で-0.4度、太平洋側で+0.0度となっており、平均昨年差は-0.5度です。

平年と比べると、津軽海峡側でやや低めとなっており、平均平年差は-0.1度となりました。

(12月6~10日)
津軽海峡 10 ~ 12 台
太平洋 8 ~ 12 台

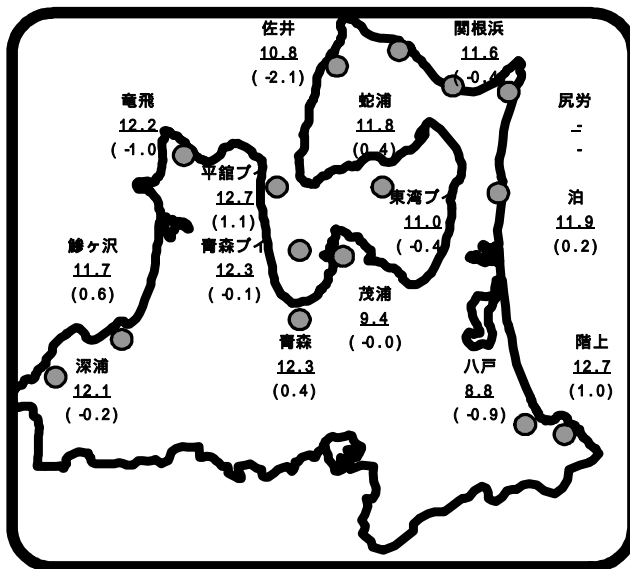


図 定地水温(12月6~10日) 平均値(平年差) プイ1m

	水温	平年差	昨年差	前回差
深浦	12.1	-0.2	-0.8	-1.2
鰯ヶ沢	11.7	+0.6	-0.8	+0.6
竜飛	12.2	-1.0	-0.5	-1.3
佐井	10.8	-2.1	-2.5	-1.4
青森	12.3	+0.4	-0.4	-0.9
蛇浦	11.8	+0.4	+0.1	+2.1
関根浜	11.6	-0.4	-0.6	-1.3
尻労	-	-	-	-
泊	11.9	+0.2	-0.6	-0.4
八戸	8.8	-0.9	-0.1	-1.5
階上	12.7	+1.0	+0.8	-0.5
茂浦	9.4	-0.0	-0.7	-0.2
平館ブイ	12.7	+1.1	-1.1	-0.8
青森ブイ	12.3	-0.1	+0.3	-1.0
東湾ブイ	11.0	-0.4	-0.1	-0.9
平均	11.5	-0.1	-0.5	-0.6

太平洋の海況 (12月7日~12月10日)

概況; 沿岸水温は14台

太平洋沿岸域の表面水温 14台で前回よりも1度ほど降温しています。昨年同期と比較すると1度ほど高い水温となっています。

津軽暖流の尻屋崎東方への張り出し 12等温線でみると東経143度付近までで、張り出しは前回よりも弱くなっています。

親潮系冷水の南下 12等温線でみると北緯38度10分付近までで、張り出しは前回とあまり変わっていません。

日本海の海況 (12月7日~12月10日)

概況; 沿岸水温は14台

日本海沿岸域の表面水温 14台で、前回よりも1度ほど降温しています。昨年同期と比較すると同程度の水温です。

試験船情報

試験船開運丸は7日から、太平洋において沖合定線観測及びあかいか未利用資源調査を行っています。10日までの操業結果は右表のとおりです。

開運丸 あかいか未利用資源調査結果(太平洋・アカイカ)

操業月日	操業位置	漁獲尾数(*)	魚体(cm)**	表面水温()	摘要
12月8日	40-32, 143-00(鮫角東方)	36(0.7)	31~42(31)	13.4	
12月8日	40-33, 143-21(鮫角東方)	12(0.7)	28~38(33, 38)	13.5	
12月9日	41-11, 145-20(襟裳南東)	39(0.8)	29~43(38)	10.5	
12月10日	41-26, 142-20(尻屋東方)	23(0.7)	32~42(33)	12.5	スルメイカ1尾
12月10日	41-26, 142-01(尻屋東方)	3(0.2)	33, 40	10.9	

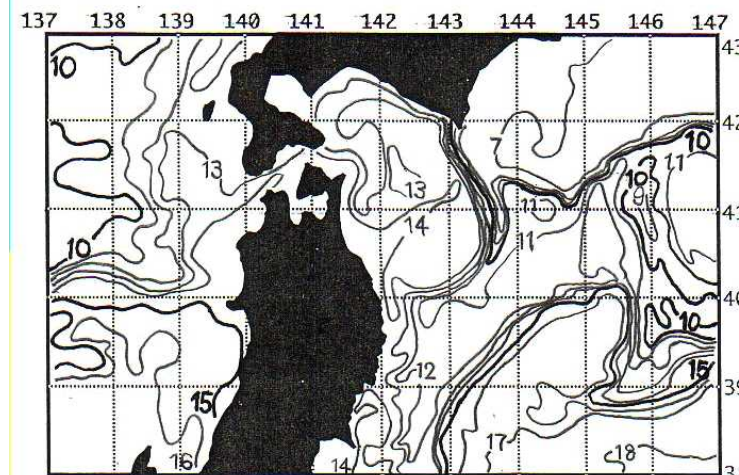
* 釣り機1台1時間あたりの漁獲尾数 ** 主となる大きさ

試験船東奥丸は、12月6日から7日まで日本海の沿岸定線観測を行いました。観測結果は右表のとおりで、各層最高水温(表面、50m層、100m層)は平年並であったものの、対馬暖流幅はヘナシ線でかなり狭くなっており、水塊深度はかなり浅め、北上流量はやや少なめとなっていました。対馬暖流の勢力としてはかなり弱めであったものと思われます。

試験船青鵬丸は今週、津軽海峡においてまだら標識放流調査を実施する予定です。

対馬暖流流勢指標12月

		12月6~7日; 東奥丸					平年差	平年比
		2002	2003	2004	2005	2006		
各層最高水温()	0m	14.8	16.6	16.2	14.6	15	0.19	20
	50m	15.23	16.70	16.21	15.35	15.20	-0.10	-10
	100m	15.14	14.54	15.98	15.16	14.87	0.11	10
流幅(マイル)	舳作線	69<	44.6	69<	61.8	20.6	-30.0	-190
	十三線	76.0	58.7	90<	60.2	54.6	-3.6	-25
水塊深度(m)		216	157	238	222	165	-38	-129
北上流量		3.11	2.09	2.19	4.12	2.49	-0.70	-99



資料:(社)漁業情報サービスセンター
北部太平洋海況情報 第72号 12月11日
大戸瀬沖の平均水温 (ブイのデータ:)

期間	1m層水温	10m層水温	20m層水温
12月6~10日	14.59	14.66	14.39
前回差	0.04	0.04	0.03